

1 福山教育基本計画

すべての子どもたちが、自分自身の成長を実感できる学校教育の実現

- 授業・研究；生徒の実態を把握し、**傾聴姿勢**を意識させ、生徒に見通しを持たせた授業づくり
- 研修；教材研究「児童生徒観」「教材観」「指導観」→PDCAから学び続ける研修の推進
- 働き方；ICT環境を整えて働き方改革のさらなる推進

2 小中一貫教育 城北中学校区 めざす子ども像

- ・主体的に考え、判断し、自律して行動する児童生徒
- ・豊かな心を持ち、お互いを尊重し、協働する児童生徒

3 学校教育目標

生徒の主体性と自律性を育み、地域社会に貢献する生徒の育成

4 めざすべき姿

めざす学校像

- (1) **基礎・基本**の徹底と**主体的な学び**を育てる学校
- (2) マナーの育成と**挨拶**のあふれる学校
- (3) 家庭や地域と**連携・協働**し、みんなが誇れる学校

めざす生徒像

- (1) **自ら考え学ぶ意欲的な**生徒
- (2) **主体的に判断し、自律した行動ができる**生徒
- (3) 豊かな心を持ち、**お互いを尊重し、人を大切に**する生徒

めざす教師像

- (1) 確かな**授業力と生徒指導力**を身につけた教師
- (2) 教育愛と熱意を**表現できる**教師
- (3) 生徒・保護者・地域から**信頼される**教師

城北の品格と誇り

5 経営方針

- (1) 学校教育目標の**実現に向けて組織的に、全員で行動できる**学校
- (2) 社会の変化に対応し、学校教育活動の向上を目指す、**主体性・自律性**のある教職員
- (3) 生徒、教職員、保護者、地域と**連携・協働**して誇りに思える学校

- ① **組織的な行動**：全員が同じ目標に向かい、各々が役割に主体性を持って行動する。
- ② **変化への対応**：個別最適な学びを推進し、生徒と共に「学びの面白さ」を探究する教職員集団となる。
- ③ **地域との誇りの共有**：CS（コミュニティ・スクール）をベースに、地域・保護者と協働し、全員が誇れる学校を創る。

6 本年度の方向性

- (1) **CSの進化と深化**：既成概念にとらわれず、小中一貫教育を基盤とした地域協働を推進する。
- (2) **資質・能力の育成**：個別最適な学びと協働的な学びを融合し、課題解決能力や情報活用能力を育む。
- (3) **主体性と自律性の重視**：生徒が自ら考え行動できる指導の実践と、「**自己を認識し、人生を選択できる力**」の育成。
- (4) ICTの最適活用：1人1台端末を授業改善や**家庭学習の充実**に生かし、きめ細かな支援を実現する。

7 今年度の重点課題

(1) 「経営方針」からの重点課題

- ① デジタルシチズンシップ (DC) 教育と自律性の融合
 - ・ インターネット、SNS 等の利用に伴うマナーや倫理を学び、**自律的な判断力**を養う。
 - ・ ICT 活用による**授業と家庭学習の変化**、生徒の変容を具体的に検証する。
- ② ICTによる「働き方改革」の推進
 - ・ 端末活用による業務効率化と、その**成果を可視化**する。
 - ・ **学校評価の整合性確保**
- ③ 自己評価の結果に基づき、改善策に実効性と整合性を持たせる。

(2) 「めざすべき姿」からの重点課題

- ① **地域に貢献する学校【学校】**
 - ・ 総合的な学習の時間を軸とした**地域理解**・社会貢献活動の充実。
 - ・ 地域行事やボランティアへの積極的参加と、活動の積極的発信。
- ② **自ら考え学ぶ生徒（主体性・自律性）の育成【生徒】**
 - ・ 学力向上：全国・市学調における**正答率 40%未満**の生徒を **25%以下**にする。
 - ・ 生活習慣：家庭学習肯定率 70%以上、平日メディア利用 3 時間以上を 30%以下に抑制。
 - ・ 心の育成：自発的な挨拶（肯定率 90%以上）と役割への自覚（肯定率 90%以上）の向上。
- ③ **教職員の資質・能力の向上【教職員】**
 - ・ 生徒指導の**4つの視点**を生かした指導力向上。
 - ※ 自己肯定感の感受 共感的な人間関係の育成
 - 自己決定の場の提供 安心安全な風土の醸成
 - ・ 道徳・総合・特活、および ICT を活用した専門教科の授業力向上。

8. 学校運営協議会 CS（コミュニティ・スクール）への移行と一体的導入

(1) 移行の意義

学校関係者評価会議から「学校運営協議会」へ移行することで、地域住民や保護者が学校運営に主体的に参画し、透明性の向上と地域特有の課題解決を図る。

(2) 小中一貫教育との一体的運用

- ① 9 年間の目標共有：**小中一貫の「共有」と CS の「熟議」**を重ね、地域全体で子どもを育てる。
- ② 協働とマネジメント：学校と地域の活動を効果的につなぎ、組織的な支援体制を構築する。
- ③ 期待される効果：連続性のある教育目標のもと、地域社会と学校が一体となり、子どもの成長と地域の発展を同時に実現する。